



たいめんしき ぶかつどうしょうかい 対面式・部活動紹介

にゅうがくしきよくじつ しん1ねんせい 2, 3ねんせい たいめん せいとかい
入学式翌日、新1年生が、2, 3年生と対面し、生徒会より、
ちゅうがっこうせいかつ せつめい うけました そのこ くすちゅうがっこう ぶかつどう
中学校生活の説明を受けました。その後、楠中学校の部活動
しょうかい おこなわれました 1ねんせい れいわ8ねん なついく きゅうじつ
紹介が行われました。1年生は、令和8年の夏以降、休日の
ぶかつどう かんぜん ちいきいこう
部活動が完全に地域移行します。そのことから、楠スポーツ
ラブの田中さんにも、来校いただき、説明を受けました。



ひなんくんれん 避難訓練がありました。

さっそく ひなんくんれん おこないました いか ないよう さくねん がっこうだより さいけい
早速、避難訓練を行いました。《以下の内容は、昨年の学校だよりを再掲します。》

このような避難訓練を通して、考えてほしいことがあり
ます。忘れてはいけない、およそ14年前に起こった東日本
だいしんさい おおく いのち しんさい ぎせい なか
大震災では、多くの命が震災の犠牲となりました。その中
で、岩手県釜石市では登校していた全ての小・中学生が
ぜんいんぶじ ひなん ようちえんじ ほいくえんじ
全員無事に避難し、さらに、幼稚園児や保育園児からも
ぎせいしゅ ひ とり でません かまいし きせき よばれて
犠牲者が1人も出ませんでした。このことは、「釜石の奇跡」とも呼ばれています。では、
なぜ、あのような震災の中、子どもたちの命は助かったのでしょうか？



それは、釜石市の小中学校の避難訓練を通して日頃から徹底してきた「避難の三原則」
によるものでした。では、その「避難の三原則」とは、次の3つのSから始まります。

「避難の三原則」(群馬大学大学院の片田敏孝教授が提唱)

1 「想定にとられるな」

ぼうさいまっぷ はざードまっぷ を信じるな。さいがい つねにそうていがい ぜったい ゆだん
防災マップやハザードマップを信じるな。災害は常に想定外である。絶対に油断するな。

2 「最善を尽くせ」

にげるとき もうそれでよい さいだいいん どりよく にげつづけよ
逃げる時は、もうそれで良いということはない。最大限の努力をして逃げ続けよ。

3 「すすんで避難せよ」

ひと かんけいなく みずからすすんでにげなさい おおきなこゑ だして まわりをまきこみながらにげなさい
人に関係なく自ら進んで逃げなさい。大きな声を出して、回りを巻き込みながら逃げなさい。
としより ちいさなこどもをまきこんでにげなさい
年寄りや小さな子どもを巻き込んで逃げなさい。

ひなん さんげんそく こころ
「避難の三原則」しっかりと心にとめておきましょう。

今後の部活動について

1年生については、令和8年の夏以降、休日の部活動が地域での活動になります。楠中学校としましては、できる限り、楠スポーツクラブの活動として、楠地区での活動を継続したいと考えています。しかしながら、軟式野球、サッカーについては、現在、単独でチームを組むことができず、他校との合同チームとなっております。また、ソフトテニスについても、楠スポーツクラブでのクラブ化が難しく、野球、サッカー、ソフトテニスについては、令和8年夏以降、協会主催の拠点型活動として、市内各箇所で活動することになります。

	R6	R7~R8	R8夏以降
卓球	くすぽ	くすぽ	くすぽ
陸上	くすぽ	くすぽ	くすぽ
バレーボール	学校部活動	学校部活動・くすぽ	くすぽ
吹奏楽	学校部活動	学校部活動・くすぽ	くすぽ
ソフトテニス	学校部活動	学校部活動、くすぽ、拠点型	拠点型
軟式野球	学校部活動	学校部活動、くすぽ、拠点型	拠点型
サッカー	学校部活動	学校部活動、拠点型	拠点型
美術創作	学校部活動	活動なし	活動なし

下の図が、市教育委員会のチラシからの抜粋です。拠点型活動の説明があります。

① 拠点型活動方式

【各種目の協会等(例:剣道協会)が主催し、市内に1つ以上の拠点をつくって活動する】

- 活動場所 市内スポーツ施設や文化施設、学校施設等
- 指導者 社会人指導者、退職教員、教員(兼職兼業)
- 活動費用 今年度は無料(今後については検討中です)

※令和7年度は16種目で実施予定

⇒四日市市教育委員会の「休日部活動地域展開」のHPです。



地域ボランティア募集

楠地区の素晴らしいところは、地域が一つになり、さまざまな行事が行われるところです。先日も、さくら祭りに、多くの中学生が地域ボランティアとして、参加し、祭りを支えて



くれました。さらに、太鼓や、ダンスなどでも活躍する中学生がたくさんいました。今後も、「たんぼアート」や「ホタル祭り」など、地域の行事がたくさんあります。そこには、必ず、中学生ボランティアの募集がありますので、まだ、ボランティアを体験していない人はぜひとも、地域ボランティアとして楠地区を支えてほしいと考えています。